



### シリーズ「新型コロナウイルスに負けるな！」



# 鬼退治

校長 笠井 猛雄

今年の節分は2月2日でした。

いつもの年は2月3日ですが、地球の公転周期の関係で1日早い節分となりました。

節分とは、文字通り節（季節）の分かれ目で、立春、立夏、立秋、立冬の前日のことですが、現在では、特に「立春」の前日を節分と言うようになりました。

節分になると、豆まきをします。

「鬼は外」「福は内」と言いながら豆を投げます。

では、節分の鬼はどこにいるのでしょうか。



2月の全校朝会で「鬼」の話をしました。

節分の鬼の正体は、私たちの「悪い心」です。「鬼」は私たちの心の中に棲んでいます。毎年、節分になると、豆をまいて心の中に棲んでいる「鬼」を追い出します。

「鬼」は、「陰」（おん）に由来しています。

「陰」は目に見えない邪気や悪い気のことです。病気や飢餓、災害などの出来事はすべて「陰」によるもの、つまり、「鬼」の仕業とされました。

また、鬼と言えば、赤鬼や青鬼をすぐに思い出しますが、仏教の教えでは、修行を邪魔する5つの煩惱を5種類の色分けされた「鬼」としています。

子どもたちに5色の「鬼」を紹介して、好きな色の「鬼」を選んでもらいました。

赤鬼を選んだ人は立ちましょう。  
赤鬼は、「なんでもほしい鬼」です。  
赤鬼を選んだ人は、何でもほしが「鬼」が棲みついているかもしれません。  
これから、校長先生が鬼を<退治>します。  
「・・・!!!」

\*

※この後、「青鬼」「黄鬼」「緑鬼」「黒鬼」を選んだ子どもたちにも起立してもらい、[鬼退治]をしました。



5つの「鬼」（煩惱）は、誰の心の中にもあります。

外からやって来る「鬼」（災害や感染症等）を防ぐことは難しいかもしれませんが、「心の中に棲む鬼」は自分自身の力で退治することができます。

「心の鬼」を退治できれば、外からどんな「鬼」がやって来ても、強い心で受け止めて、立ち向かうことができるはずです。

学年末、子どもたちは、もう少しで進級・卒業を迎えます。

世界中に蔓延するコロナという「鬼」に負けないことはもちろん、自分の「心の鬼」にも負けずに、進級・卒業に向けて頑張りたいと思います。